

特別講演 1

「帯状疱疹・単純疱疹

～その治療選択肢が増えることのメリット～」

聖隷三方原病院 皮膚科

白濱 茂穂 先生

帯状疱疹は帯状に分布する皮膚病変と疼痛が特徴である。内服抗ヘルペスウイルス薬はファムシクロビル・バラシクロビル塩酸塩・アシクロビルがあり、これらの薬剤は腎臓から排泄される。また、2017年7月には肝臓で代謝され糞便中に排泄されるアメナメビルが登場した。腎排泄型の薬剤を投与する場合、腎機能に応じた用量設定を行わないと急性腎不全などの薬剤性腎障害を起こす可能性があり投与には注意が必要である。

口唇ヘルペスや性器ヘルペスは再発しやすい。頻回に再発する患者さんにおいては Patient Initiated Therapy (PIT) 療法が本邦でも認められた。PIT 療法は、一般的には事前に処方されたファムシクロビル 4錠をいつも携帯し、患者さん自身が再発を感じた瞬間に内服し、さらに 12 時間後に 4錠を追加内服する治療法である。超早期療法で再発に悩んでいる患者さんにはメリットが大きいと思われる。